Korea Japan Student conference 53th
바나나맛

目次

・団長挨拶…p.3

・Ex.概要…p.4

開催の目的

協力団体・協力者

場所

参加者・役割紹介

・日程および構成…p.6

・事前勉強会報告…p.7

・日別報告書…p.8

・フリーエッセイ…p.18

・他己紹介…p.29

・写真集…p.45

・ランキング…p.49

・編集後記…p.51

団長挨拶

大阪支部一年次生（当時）
廣田泰博

KJSC53rd で団長を務めさせていただきました、大阪支部関西大学 2 年次生廣田泰博です。本年の日韓学生会議（以下、K.J.S.C.）は直前で日程の変更があったものの韓国ソウルで 2 月 12 日から 17 日までの 6 日間の日程で開催されました。
私はここで何を書けばいいのか甚だ見当が付かないのですが、まず初めに私が団長に立候補した理由を述べますと、Ex.開催前に行われる結団式の出欠確認メールを送信する締め切りが 5 日も過ぎてしまっていて戸惑っていたところ団長がまだ決まっていないと連絡がありまして、言葉が悪いのですが Ex.部の「ご機嫌を取るため」立候補をしていました。そんな不純な動機で成り上がった団長なのであります。私はこの団長という役職に就きそして KJSC に参加して、まず思うことは良いメンバーに恵まれてほんとによかった、と思います。「参加者に何かあっても一番に逃げ出しそう！」と言ってくれる同期や、僕がどうしても手が回らなかったことを助け、良い雰囲気づくりをしてくれた先輩たちが居てくれたことに対して本当に感謝しています。
またプログラムの内容に関して私事でまことに恐縮なのですが今までの経験上、現地の学生と一週間も寝食を共にするといったものはなく、実際に彼らの生活を肌で感じることのできた貴重な機会であったのではないかと思っています。彼らとの生活は充実したものであり、僕個人としては隣国に暮らす同世代の貴重な意見や考え方を知ることが今回の参加動機であったため、その目的は十分に達成できたのではないかと思っております。また参加者はそれぞれの目的で K.J.S.C.に参加しそれを達成し、掴みとるものをつかみ取って帰ってきていることでしょう。
プログラムが終わって一か月以上が経ったいま、KJSC とは何だったのかと今思い返してみています。なにか全員に共通して感じることのできたものはなかったのか、と。様々な意見がありますが教科書で教えられている通りに書きますと日本が韓国を”植民地化”して以来、私たち両国の間には見えない壁があります。それはどこか”近くて遠い国”といったところでしょうか。そのような両国の間にさえも感じることができたもの、それはどうやら人の優しさのようなのです。日本人のやさしさも、韓国人の優しさも。そんなプログラムだったような気がします。

Ex.概要

▽開催の目的

　世界情勢を多面的に見ると決して安全とは言えない国際関係の中で、本当の交流を目指した学生同士の韓日学生会議、即ち、Korea Japan Student Conference。限られた期間の中で私たち 17 名の I.S.A.メンバーはかけがえのない仲間達と国籍関係なく友情を築き、そして日韓の交流を深めてきた。一個人では解決できないような日韓の間にある政治的問題もいつか、この交流によって、I.S.A.の理念でもある、わだかまりのない世界平和を構築できたらという願いも込めてここに K.J.S.C.の開催目的が存在すると考える。

▽協力団体・協力者

Seoul National University I.S.A.ソウル支部・K.J.S.C.Staff

(Organization Chief：Se Heun Seo)

▽場所

K.J.S.C.…大韓民国、ソウル特別市、ソウル国際ユースホステル
　　　　http://www.seoulyh.go.kr/japan/main.html
勉強会…日本、兵庫県神戸市、神戸学生青年センター
　　　　ksyc.jp/

参加者・役割紹介

【団長】廣田泰博
みんなの団長です！！

【副団長】伊東良将
団長補佐。パスポート等各種情報収集を行います！

【勉強会】永友亜依　新宮真梨　清水春花
勉強会のスケジュール組み、使用する施設の手配などをします！

【文化紹介】平田陽子　松木彩奈　山崎弘美　森本麻菜美
文化紹介の企画や、文化紹介時に披露したダンスを教えたりします！

【報告書】浅沼遥　宇都宮果菜　村上昂平
KJSC 後に報告書を作成します！！

【財務】織田安奈
結団式交通費をデータ上で管理したり、領収書の保管と決算の提出をします！

【Web】清水春花
Facebook のグループを作成します！

【広報】高浦由佳里　泉裕花
KJ 中、活動風景の写真を撮り、帰国後の全国合宿で使用します！

【国際渉外】西村友里
韓国の学生と連絡を取り合い、またその連絡事項を参加者に知らせます！

【チケット】松倉千明
飛行機の安いチケットの情報を調べてみんなに知らせます！

SCHEDULE

２月１２日（水）	２月１５日（土）
仁川国際空港にてみんなと合流	朝食　＠ユースホステル
昼食（タッカルビ）　＠明洞	カロスキル
ユースホステルにチェックイン	昼食　＠カロスキル
Ice Breaking & Welcome Party	ディスカッション　＠Seoul National University
ディスカッション	大学内見学＆ゲーム
夕食（サムゲタン）　＠明洞	サムギョプサル Party　＠ユースホステル
ショッピング	
２月１３日（木）	**２月１６日（日）**
朝食　＠ユースホステル	朝食　＠ユースホステル
景福宮	発表
昼食（カルグクス）　＠仁寺洞	昼食（バイキング）　＠明洞
自由行動＆ディスカッション	南山谷韓屋村
夕食　＠広蔵市場	高速バスターミナル or 博物館
清渓川	夕食（プルコギ）
マッコリ party	ソウルタワー
２月１４日（金）	**２月１７日（月）**
朝食　＠ユースホステル	朝食　＠ユースホステル
トリックアートミュージアム　＠弘大	荷物まとめ
アイスミュージアム	フェアウェルパーティー
昼食（ステーキ）	
韓服体験	
チムジルバン（ハッピーデイスパ）	
Sweets Party（ケーキ作り）　＠ユースホステル	
夕食（チキン＆ビール）	

事前勉強会報告

事前勉強会(1 日目)

この合宿の目的は、韓国のことをより深く知り、同時にメンバー同士の仲を深めることでした。初日の 1 日目は、主に韓国について深く知ることをメインにグループに分かれて発表を行いました。テーマは、「歴史」「マナー」「食事」「政治」「地理」「韓国語」の 5 テーマに分け、だいたい 1 グループ３～４人でした。テーマを決めるうえで反省点が１つ。勉強会係の数人さらっとでテーマを決めたので、この５テーマでよかったのか少し疑問が残りました。しかし、どのグループもパワーポイント等を使ってしっかりまとめてきているグループが多く、知らなかったことを互いに教えあうことができたのではないかと思います。

メンバー同士の仲を深める、という点は、勉強会のときにはすでにメンバー同士仲良くなっていましたが、夜に飲み会を行いました。あまり話したことのない人と話せたり、普段から仲が良かった人の意外な一面が見れたり…　より仲が深まりました。

事前勉強会(2 日目)

８時ごろ起床。お酒が入っていてもぐだぐだせず、その日のスケジュールをこなすことができました。メリハリのある合宿だったと思います。

２日目は文化紹介で何をするかとその準備を行いました。文化紹介係は１回生を中心としたメンバーで、まだ初めてのことで分からないことも多い中、みんなで一生懸命に仕事をしていて、２年生の私も頑張らなきゃと感じました。例年、ダンスを披露するらしく、ダンスをすることに決定し、２チームに分けて、嵐の「Ｌｏｖｅ　ｓｏ　ｓｗｅｅｔ」とＡＫＢ４８の「恋するフォーチュンクッキー」を踊ることになりました。曲が決定してからはグループごとに練習を行いました。私は「Ｌｏｖｅ　ｓｏ　ｓｗｅｅｔ」班でしたが、思っていたよりも難しく、全くついていけませんでした。グループの中で唯一かなちゃんはすぐに振付を覚え、みんなに教えてくれました。このことが本番の成功につながっていたと感じます。かなちゃん、ありがとう。みんなでわちゃわちゃ練習することで、より仲が深まったのを感じます。

練習の時間が足らず、またみんなに会いたかったという気持ちもあり、別に日を合わせて練習日を設けることになりました。また集まりたいと思える雰囲気になれたということは、勉強会は成功したのかな、と感じます。　（京都支部　清水春花）

日別報告

▽ビフォア

ソウル以外の場所にあまり行ったことがなかったことから、ビフォアでは釜山に行くことにしました。釜山国際空港に着いてから地下鉄を使いゲストハウスに行きました。荷物を置いて晩御飯を食べるため釜山の街を歩きましたが、街中で演奏し、歌っている人がいてとてもにぎやかでした。また人々は道路のど真ん中にもかかわらず、いすを並べてとても楽しそうに聴いていて、ソウルよりもゆったりとした時間が流れているように感じました。釜山は魚介類が有名と聞いたので、晩御飯はタコを辛いソースで炒めたものを食べました。店員さんは日本語が流暢な人がいて料理を選ぶ際にいろいろアドバイスをしてくださって、とても助かりました。わたしたちのために辛さを抑えてくれたのでとてもおいしく食べることができました。

次の日は朝早くから市場に出掛けました。しかし私たちが到着した時間にはまだ市場が開いておらず、あいにく天気もとても悪かったため市場を諦めてゲストハウスへ戻りました。それから荷物をまとめてその日泊まる予定のホテルに移動しました。そのホテルの外観は独特な雰囲気を持っていて、とても目立つ建物でした。ホテルの中に入ると外の釜山の街の感じとは異なり、内装にしても家具にしても、伝統的な韓国を感じられるようなとてもいいホテルでした。素敵なホテルだったので、惣菜やデザートを買ってきてその日はホテルで晩御飯を食べました。

ビフォア最終日。この日はソウルへ移動する日でした。釜山駅からソウル駅まで「KTX」という日本で言う新幹線を使いました。新幹線と同じように長距離を短時間で移動することができ、車内販売もあり、座席も新幹線と同じようなものでした。ただ、ひとつ驚いたのが、両駅でも改札口が無く、KTX の車内でも切符点検がなかったことです。いつもそうなのか、今回偶然無かっただけなのかわかりませんが、日本ではありえないことで、今でもとても不思議に思っています。ソウル駅についてからは次の日からの K.J.S.C.のために仁川国際空港の近くのホテルに宿泊しました。

今回ビフォアで初めて釜山に行きましたが、釜山の人はとても親切で、日本語を話せる人が多くいた印象があります。同じ韓国内でも、地域によってやはり違いはあることを感じることができてよかったです。そして韓国語の方言を実際に聞くことができてうれしかったです。　（岡山支部　浅沼遥）

▽１日目（２月１２日）

朝早くに関西国際空港を飛び立ち、韓国の仁川空港に到着しました。そこで迎えてくれた、韓国の K.J.S.C.の参加メンバーからしおりを受け取り、軽い自己紹介を交わしました。この時はまだ緊張しており、お互いに距離があり、うまく打ち解けることができなかったように思います。そして、KTX に乗り込み明洞へと向かいました。そこでほかのメンバーとも合流し、韓国での初の食事であるお昼ご飯を食べました。やはり辛かったですが、おいしくいただきました。ここではゆっくりと話す時間があり、少しずつお互いのことなど話すことができました。その後、ユースホステルへと移動し、Welcoming Party で自己紹介やゲームなどをして盛り上がり、お互いの緊張感がほぐれていき、少しずつ仲を深めることができたように思います。夜は明洞で参鶏湯を食べ、その後ショッピングを楽しみました。日本にはないものや、価格の低さに驚きつつ、雰囲気を楽しみながら買い物することができました。韓国の若者の間で流行っているもの、ファッションが知れて日本との違いを感じながら、楽しみました。ユースホステル着いたころにはくたくたに疲れていましたが、K.J.S.C.の初日から日本とは異なる韓国の文化や雰囲気を身をもって体感でき、とても充実した時間を送ることができました。それとともに、異なる言語を話す者同士がコミュニケーションをとることのむずかしさ、もどかしさも実感しました。しかし、うまく言葉にできなくともお互いがお互いを理解しようという心があれば、伝わることもあるのだということを感じました。　（大阪支部　森本麻菜美）

K.J.S.C.のプログラム初日は、仁川空港でお昼に韓国の学生と出会うところから始まりました。韓国でのプログラムに皆が不安を覚える中、空港では韓国の学生が笑顔で私たちを迎えてくれ、緊張であまりうまく英語も話せない状態でしたが、親切にしてくれました。

韓国に着くと、まずは昼食をとりました。韓国料理は、辛い事で有名ですが、ほとんどの日本人学生が、本場の韓国料理の辛さを初めて体験しました。辛さに耐えつつも、おいしくいただいた昼食でした。

その後は、ユウスホステルに移動し、他の韓国人学生とも合流をしました。そして、韓国の学生より、ウェルカムパーティを開いて頂きました。英語を使い、自己紹介や質問をし合いながら交流をしました。また英語を使って、何でもバスケット等のゲームを行いました。日本のみで楽しまれているゲームかと個人的に思ってましたが、韓国でも楽しまれているということで、凄く親近感がわきました。皆この時間を過ごして、少しお互い楽しむことができるようになったと思います。

夕食時は、明洞で過ごしました。参鶏湯を食べに連れていってもらいました。私自身初めて参鶏湯に挑戦しましたが、体が温まる韓国料理だなと思い、家庭でもよく出るのには納得でした。

そして、夕食後はそれぞれで買い物に出かけたり、韓国のショッピング街にある出店で買い食いをしたりするなど、韓国人学生と共に楽しみ、一日目を終えました。　（大阪支部　高浦由佳里）

▽２日目（２月１３日）

2 日目は朝から景福宮へ行きました。まず光化門で儀式がおこなわれていたのですが、服装から髭まで昔の人を再現していてとても迫力があり面白かったです。景福宮内は日本語ガイドさんと一緒に歩き王様の書斎や休むお部屋、昔のオンドルの作りなど建物一つ一つ詳しく説明を受けました。敷地内からは韓国のホワイトハウス、大統領官邸もみることができました！

その後は歩いて仁寺洞まで行き、お昼ご飯を食べてからディスカッションチームでお土産屋さんに入ったり、ぶらぶら歩きまわり途中にディスカッションをするために韓国伝統茶のカフェに入りました。私はオミジャ茶という飲み物を頼みました。オミジャ茶とは甘味、酸味、辛み、苦み、塩味の 5 つの味がする飲み物らしく見た目は赤色でちょっとすっぱくて、でもとても美味しくてすっかりはまってしまいました＾＾ディスカッションは、韓国人の 3 人のうち 2 人は寝ていたため、韓国人チーフと日本人 4 人で進めるというとてもゆるーい感じで終わりました。

夜はクァンジャン市場に行きました。ここは本当にすごいです。道の真ん中にいろんな韓国料理の屋台がずらーーりと並んでいてスンデを目の前にしてキンパやおでんを食べたり、豚の頭がたくさん置いてある店があったり、人も多くすごくにぎわっていて終始興奮していました。外国人観光客だけでは少し行きにくい場所にいけたのも KJSC だからだなぁと思っていました。それから清渓川までみんなでわちゃわちゃ喋りながら 30 分以上は歩いたけど楽しすぎてあっという間でした。こんな感じで 2 日目が終わりますます K.J.S.C. メンバーと仲良くなれてうれしかったです。　（岡山支部　永友亜依）

キョンボックン（お寺）観光して班ごとや自由にキョンボックンで写真を撮った。また韓国の伝統的な戴冠式のもようしを見た。キョンボックン内の池は凍っていて韓国は改めて寒いのだと実感した。また、キョンボックンの門には韓国の伝統的な服を着た兵隊が立っていて、そこで写真を撮った。

お昼ご飯は韓国の伝統料理である、カルグクスを仁寺洞で食べた。麺と餅とを選べて、辛い物が苦手な私嬉しい辛くない韓国料理であった。お昼ご飯の後は、ディスカッションチームに分かれそれぞれディスカッションの時間と観光の時間を決めた。私のチームは最初の 1 時間をディスカッションにあて、韓国のカフェでディスカッションをした。韓国のカフェも日本のカフェと似ていてとてもオシャレであった。残りの 1 時間は、仁寺洞観光

をした。仁寺洞は韓国の伝統的なお店やお土産屋さん、螺旋階段を上っていくショッピングモールなど観光できるところがたくさんあった。また、韓国で唯一ハングルで書かれているスタバがあり多くの観光客が写真を撮っていた。韓国の変わった形のコーンでアイスを食べた。お土産屋さんの人はみんな日本語が上手だなあとおもった。

仁寺洞観光の後は、カンジャンシジャン（市場）で班ごとに夜ご飯を食べた。韓国の学生がおいしいお店に案内してくれたので、おいしい韓国料理を食べることができてとても満足している。キンパプやチヂミ、トッポギ、ユッケなどを食べた。

夜ご飯の後は、日本の京都の鴨川的なデートスポットである川沿いを歩いてイルミネーションを見た。ソウルの街並みは日本と似ていて、大きなビルもたくさんあった。　（大阪支部　西村友里）

１４日は、バレンタインデイということもあり、いろんなことをしました。まず、トリックアートミュージアムに行きました。実際に見るとただの絵なのに、カメラで撮ってみると立体的にうつる絵と、いろんなポーズでたくさん写真を撮りました。

その後は、みんなでチマチョゴリを着ました。これがまた…女の子たちが可愛いんです！！！いろんな色、柄があって、それぞれがそれぞれに合うチマチョゴリを着ていてもーーーーたまりませんでした。一方、男子たちはというと、一言で言うと…皇帝でした。変に貫禄があって面白かったです。みんなで並ぶと皇帝たちとその側室たちみたいで少し面白かったです。全身黄色の伊東さんのウィンクは忘れられません。可愛すぎ…。また、チマチョゴリを着て驚いたのは、着るのがとても簡単だということです。日本の民族服である着物は、着るのが難しく、着付けられる人は日本人でも少ないですが、それに比べると、韓国の民族衣裳は、誰でも着られるくらい簡単に着ることができます。また、着物を着て座る時に、私たちは正座をしなければなりませんが、チマチョゴリの場合は、あぐらの状態から片膝をたてるという、比較的楽な座り方をとります。気持ちがしゃきっとする着物もいいですが、楽に着られるチマチョゴリも私の性格に合っていていいなと思いました。

チマチョゴリを着て写真を撮りまくった後、昼食にステーキを食べました。本当にいいお肉ですっごくおいしかったです。バレンタインデイということもあって、隣で韓国人の女性が彼氏にチョコを渡していました。ほっこり♡ステーキの前に食べたポテトサラダもとても印象に残っています。じゃがいもじゃなくてさつまいもを使っているそうで、日本のものと違って甘かったです。

その後、チムジルバンに行きました。日本でいうサウナのようなものですが、規模が全く違います。宿泊もできるので、韓国の若い女性たちは友達の家にお泊りするみたいに、友達とチムジルバンに泊まるそうです。友達と話したり楽しみながら体を癒し、きれいにできるなんて夢のような場所ですねほんと。私は 90 度のサウナが一番気に入りました。じっとしてるだけで汗がふきでてきて、我慢できなくなったら出るというのをずっと繰り返

していました。チムジルバンを出た後、顔白くなったんじゃない？と言われた時は、感動しました。チムジルバン最高。

ホテルに帰った後、グループに分かれてチョコレートケーキを作りました。スポンジをハートに切る時点で苦戦しているグループもありました。あるグループは、もはやハートじゃなくて動物にしていました。バレンタインデイ関係なくなってますねーはい。スポンジ切ってクリーム塗ってデコレーションするだけなのに難しいんです。←　でも味はおいしかったですよ♡

そしてお待ちかねの文化紹介！！！私たちは嵐の「Love so sweet」とAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を踊りました。嵐は韓国でも人気なようで、音楽がかかった時の盛り上がりはすごかったです。アイドルのように前に出てきた時の韓国人のテンションは異常でした。ですが、それ以上に盛り上がったのが、伊東さんとひろひろがAKBのコスプレをして出てきたときです。伊東さんがまたノリノリで、サービスしまくるので、ともおもしろかったです。また二人とも女装が似合うというね…。最後はみんなでうらじゃを踊りました。

文化紹介の後は飲み会！！いやー、濃い１日だった。　（神戸支部　泉裕花）

▽３日目（２月１４日）

朝食を食べて、トリックアートミュージアムというところへ行きました。みんなで写真を撮り合いすごく盛り上がりました。トリックアートもユニークなものがたくさんありました。みんなでふざけ合ったりして、面白かったです。昼食はステーキを食べました。韓国に来て、韓国料理以外の料理を初めて食べました。お肉が柔らかくて美味しかったです。チマチョゴリを参加者全員試着させてもらいました。韓国に来たら一度来てみたいと思っていたので、嬉しかったです。みんなとても似合っていました。ポーズを決めて写真を撮ったり、わちゃわちゃして楽しかったです。その後チムジルバンに行きました。有名なサウナと聞いていたのですごくわくわくしました。サウナがいくつかあり、服を着たまま90度近い温度のサウナに入りました。暑すぎて頭もぼーっとしてき、３分足らずで出てしまいました。身体がすごく温かくなったので気持ちくなり、床でしばらく寝ていました。リラックスできて、外は寒かったけど身体はぽかぽかになって、良かったです。ホテルに戻りスイーツパーティーをしました。バレンタインということでハートのかたちのチョコレートケーキを作りました。先輩方がクリームを塗ってくださり、私トッピンをしました。想像以上にとクオリティの高いケーキが出来上がり、美味しくいただきました。ずっと楽しみにしていた文化紹介も夜にしました。韓国のみんなは歌もすごく上手だったし、ダンスがめちゃくちゃ可愛いかったです。すごく難しそうなダンスだったので、たくさん時間をかけて練習をしてくれたんだと思いました。自分たちの発表も少し緊張したけど、みん

なが盛り上がってくれて楽しかったです。少しだけアイドル気分になれました。ＡＫＢは女装も面白かったし、みんな可愛かったです。とても濃い一日でした。　（神戸支部　平田陽子）

▽４日目（２月１５日）

午前中はチームに分かれてカロスキルを散策しました。カロスキルにはコスメのお店は少ないほうで、服のお店やカフェが多く立ち並んでいます。今まで行ったショッピング街とは違った雰囲気で珍しいなと感じました。散策した時間が早かったので、まだ開店していないお店がほとんどでした。

散策のあとはバスでソウル大学へ移動！お昼はビビンバを食べました。そのあとはチームに分かれてミッションゲームを行いました。大学はとにかく広い！私たちのチームのコミはヒントをたくさんくれました。途中でワッフルも買ってくれました。なんて優しいんだ。そのあとはみんなで大学内の博物館と美術館へ行きました。古きものから近代的なものまでたくさんの展示物、作品がありました。それからグループごと教室でディスカッションの続きを行いました。みんな歩き疲れていたのですが、それを見たコミが仮眠の時間を設けてくれたりお菓子やレッドブルを買ってきてくれました。その心遣いが嬉しかったです。

夜ご飯はサムギョプサルでした。私は初めて食べたのですが、思った以上にボリュームありました。

ユースホステルに戻ったら次の日の発表の準備をしました。日本人メンバーみんな電子辞書片手に英語頑張りました。韓国人メンバーも協力してくれました。いろんなところでいろんなことができて、充実した一日でした。　（京都支部　山崎弘美）

Garosugil でグループごとにわかれて行動しました。私たちのグループはぶらぶらと買い物をしてカフェに入りました。お昼も Garosugil で食べました。そのあと、ソウル大学で、ディスカッションをしました。ソウル大学では、ソウル大学の、記念の商品が売ってる店に入りとても素敵なお土産物が買えました。写真もたくさん撮りました。ディスカッションはグループごとに、わかれてしました。

私たちのグループは発表のためのパワーポイントのスライドと英文を一人１枚作りました。英語で発表する文章を作ることはとても難しく辞書をひきながら作りました。よるごはんはサムギョプサルでした。ハサミをつかってお肉をきるという本格的な物でした。本当においかったです。ホテルに帰ってから飲み会をする予定でしたが、次の日の発表の準備ができていないためグループごとに、わかれて作業と練習をしました。　（京都支部　松倉千明）

▽５日目（２月１６日）

五日目は、まずディスカッションの発表会がありました。前日にソウル大学で作ったパワーポイントを使ってのプレゼンテーションでした。どのグループのテーマもとても難しかったので、ディスカッションの成果を伝える側も、それを聞く側も大変だったと思います。日本語で説明するとしても難しい内容だったと思います。しかし、パワーポイントに図や絵を取り入れて、なんとかわかりやすくしようとみんな努力していました。ディスカッション後は、ユースホステル近くのバイキング形式の韓国料理店に行き、お昼ごはんを食べました。たしか唐揚げが美味しかったと思います！その後、ナムサンゴルという韓国の伝統的な村へ行き、自由行動をしました。最後の思い出づくりということで、写真撮影をしている人が多かったように思います。村に入る前の坂道に綿菓子が売っていたりして楽しかったです。韓国には日本には売っていないようなカラフルで大きな綿菓子があったので見た目も楽しめる感じでした！その後は高速バスターミナルに行きたい人と博物館に行きたい人に分かれてグループ行動をしました。私は高速バスターミナルでショッピングを楽しみ、そこで“まいう”という名前のお寿司屋さんを発見したことが印象に残っています。夜はソウルタワーへ行きました。ソウルタワーは展望台に上るエレベーターの音と映像の演出が、アトラクション並みに凝っていたので感動しました。素晴らしいソウルの夜景を楽しんだ後、ユースホステルに戻り、最後の飲み会をしました。　（京都支部　新宮真梨）

５日目の日程では、サマリー発表を行いました。4 日間かけて作り上げてきた自分たちのディスカッションテーマについての成果を全体で発表しあいました。自分たりのテーマはＦＴＡでした。ＦＴＡは以前公安されて中止された日本と韓国の間の自由貿易協定のことで今話題になっているＴＰＰ同様、簡単に結論を出すことができないテーマでした。発表をおこない、なんとか形にはなったかなとは思います。お互いに国の経済事情などがわかる有意義なテーマとなりました。お昼からソウルのお寺をまわり、そこには韓国伝統の昔の遊び道具があり日本と同じようなものもあり、とても興味深かったのを覚えています。そのあとグループに分かれ自分たちの班は高速バスターミナル駅にいきました。高速バスターミナルというとバス乗り場なんですが、地下に大きなショッピング街がひろがっており韓国人も安く服などを買うときはよく利用するらしく、韓国の日常的な部分が見えとても興味深かったです。

何度かバスを利用するために訪れたことはあったのですが、いつも夜だったためお店が開いてなかったので、いろいろ見ることができてよかったです。夜にはナムサンタワー、日本ではソウルタワーと呼ばれるところに行きました。中に入りのぼりのエスカレータの

とき壁に映し出された映像がこれから宇宙に向かうような幻想的なかんじで、とても面白かったです。まるで遊園地のアトラクションのような演出で、ああゆう派手好きなのは韓国ならではだなと思い面白かったです。もちろん頂上は山の上にあり東京タワーより高い位置にあったので絶景でした。噂どうり、男子トイレで外の絶景をみながらトイレができるところがあり友達と二人で爆笑してました(笑)

5日目は周るところも多くかなり疲れましたが、それだけ価値のあるいいスポットをまわれた一日になりました。　(神戸支部　村上昂平)

▽最終日（２月１７日）

朝食を済ませて、荷物の整理や身支度をした後に、フェアウェルパーティーがありました。そこでは、全員に小さなノートが配られて、そのノートに全メンバーが1ページずつコメントを書いていきました。全員の思ったこと、私に対してどんなイメージを持っていたのか、5日間での思い出やエピソードなどが書かれていて、面白くもあり、うれしいお土産になりました。そのあとは、K.J.S.C.中に撮った写真のムービーを見たり、集合写真を撮ったりしました。ムービーを見ていると充実した5日間だったなと思うと同時に、韓国人メンバーとも仲良くなれてよかったなと思いました。個人でもみんなと写真を撮ったり、お別れの言葉を言ったりしましたが、お別れという感じがあまりしなくて、また明日も一緒にいそうな感じがしました。K.J.S.C.53と書かれた青いTシャツ、韓国料理のキンパやお茶をもらい、最後のお昼ご飯をみんなで食べました。ユースホステル前でアフターに行く人やまだとどまっている韓国人メンバーと別れ、仁川空港に向かうリムジンバス停に向かいました。帰りの飛行機の時間は夜で、少し観光をしてから帰ろうかなとも思っていたのですが、ちゃんと空港に着くのか不安だったこともあり、すぐに空港に向かいました。また、電車で空港に向かうよりバスで行ったほうが簡単なのでバスで向かいました。空港に着いてからはお土産を買ったり、夜ご飯を食べたりしました。K.J.S.C.中はご飯が用意されていて自分で買う機会もなかったので、最後にご飯を買ったときは緊張したのですが、いい経験になりました。　(大阪支部　松木彩奈)

最終日はFarewell partyをしました。そこで、みんなへのメッセージを書く時間がありました。一人一人にメッセージを書きたかったけれど時間がないな、と思っていたのでとてもうれしかったです。全員の分、となるとなかなかの量なので、終わるころには結構疲れていたけれど、みんなからのメッセージをちらっと読んだだけで、うれしいコメントがいっぱい書かれていて、すごく泣けました。韓国メンバーと離れることが寂しかったのはもちろん、日本メンバーが書いてくれた内容にも感動しました。初っ端からひとりで泣きまくってごめんなさい。もう二度と会えない人もいるんだろうな、と思ったら悲しかった

けれど、みんな「次また会おう」、とか「日本行くね」、「韓国おいで」ってそれぞれに言ってくれました。韓国メンバーがしきりに言っていた「Next time」が印象的でした。国も離れているし、「次」なんて正直いつになるか分からないけれど、そのころまでには韓国語も英語ももう少し喋れるようになっとこうと思いました。それからはみんなとハグして、写真を撮って別れました。私はアフターには行かず、そのまま数人で空港に行く予定だったのですが、韓国メンバーが空港までのバスの乗り場を教えてくれて、迷わず空港にたどり着けました。最後の最後までお世話になりっぱなしで、とても感謝しています。飛行機の出発まで少し時間があったので仁川空港を探検したり、アイスを食べてのんびり過ごしました。　（大阪支部　宇都宮果菜）

▽アフター

私は K.J.S.C.最終日の 2 月 17 日から 19 日まで、アフターとしてソウルに滞在した。しかし、私がアフターについて書かせてもらうのは、あまりにも申し訳ない。というのも、私はプログラム最終日の朝 40 度近くの高熱を出し、アフター期間中はそのほとんどの時間をホテルの部屋の中で過ごしたからだ。したがって、これから私が記す文章が果たして一読に値するものであるとは言い難いが、読んでいておもしろい要素も無きにしも非ずだと思うので、是非目を通して頂ければ幸いである。

17 日、名残惜しい韓国人の友人たちとの別れを終えた後、私は同じ支部の参加者二人と、滞在先のゲストハウスへと向かった。私たち三人はもともと支部の中でも仲が良く、ISA の活動以外でもよく話す間柄だったので、私はアフターをとても楽しみにしていた。しかし、そのときの私たちは皆疲れており、体調も悪かったので、その日はゲストハウスでゆっくり過ごした。外に出たりはできなかったが、初めて韓国のテレビ番組を見たり、たわいもない話をしたりしながら、あくまでも安静にしていた。

アフター2 日目の 18 日、何とか外に出られるくらいには体調が回復したので、お昼頃仁寺洞に向かった。仁寺洞は KJ の会期中にも訪れた街で、古い伝統的な街並みの中にどこか新しいおしゃれな雰囲気を感じることのできる魅力的な観光地だ。私たちはここで、日本にいる家族や友人のお土産を購入したり、朝鮮に伝わる宮廷料理を食べたりした。

夜になると、明洞駅からソウル駅に移動し、「ロッテマート」という大型スーパーで買い物をした。私は外国を訪れる際、必ずスーパーに立ち寄るようにしている。日常的でどこにでも同じように存在するスーパーだが、国が違えば、商品が違う。それだけにとどまらず、陳列の仕方や会計方法も日本とは異なることが多い。このとき私たちが訪れたスーパーも、日本で馴染みのあるスーパーとはまるで違っており、私はこの刺激的な空間を大いに楽しんだ。また、驚いたことには、おかしコーナーに並べられたたくさんのおかしのうち、ほとんどが日本のものだった。日本と韓国が経済的に依存しあっていることは以前か

らよく聞いていたが、その事実をこの目で見て、身をもって感じた瞬間だった。
　次の日の朝、もう一日滞在する友人二人と別れ、仁川国際空港へと向かい、8日間という長いようで短かった旅の帰路についた。　　（岡山支部　織田安奈）

　私はアフターでJSAツアーに参加しました。北朝鮮との国境がある板門店に行くツアーです。イ・ビョンホン主演のＪＳＡを観たことがあり、いつか国境に行ってみたいという気持ちがありました。今回はK.J.S.C.に参加したメンバーの一人と一緒にツアーに参加しました。ちなみに、JSAでは韓国軍の監視下におかれますのでツアーでしか参加することはできません。バスの移動はソウル市内から2時間ぐらいですが、ガイドさんの話、特に韓国の歴史について聞くことができ大変勉強になりました。事前にJSAの知識がなくても戦争記念館に寄りますし、ガイドさんの話を聞くことで、その後のJSAツアーを有意義に過ごすことができました。また、国境(休戦ライン)を超えることができ感動しました。
K.J.S.C.期間中は韓国と日本に関わる歴史問題については避けられていたようなので、アフター／ビフォアーでしかその歴史を知ることはできませんでした。私は、アフターで戦争記念館に行けたこと、JSAの現場に足を踏み入れたことで、歴史が与えた影響と今もその傷跡が残っていることを肌身に感じることができました。韓国と日本、今は政府が対立しています。そういう背景もあってK.J.S.C.の参加人数が少なくなっていると思います。しかし、そういう時だからこそ、対立の理由を知るためにKJSCに参加するべきだと思います。そして、せっかく韓国に来たのならアフター／ビフォアーで韓国の歴史を学ぶべきです。2度と体験できない経験ができました。　　（神戸支部　伊東良将）

フリーエッセイ

▽西村友里

私は､K-POP が好きなわけでもないし韓流スターや韓国料理が特別好きなわけでもなく、ただ韓国に一度行ってみたいという気持ちと韓国人学生と英語で交流してみたいという気持ちから K.J.S.C.に参加した。しかし実際 K.J.S.C.に参加して、韓国料理のおいしさと、韓国人学生との交流の中で韓国のことが好きになった。

6 日間でソウル市内だけであったが、韓国らしいところに観光できたし、買い物もできたし、おいしい韓国料理もたくさん食べることができたし、韓国の民族衣装であるチマチョゴリも着ることができたし、韓国で一番賢い大学ソウル大学にも行くことができたし、とても韓国を満喫することができて参加して本当によかった。韓国人が案内をしてくれるので、安心して観光することができた。

韓国人学生と交流することで文化の違いや価値観の違いなどを知ることができてよかった。また、ディスカッションの時も韓国人学生がリードしてくれたので、議論をスムーズに進めることができた。韓国人学生は積極的に発言していて、とても英語もうまくて、私ももっと英語を勉強して彼らみたいに話せるようになりたいと思ったし、自分の意見を積極的に話せるようになりたいと思った。

学部も違えば学校も違う日本人参加者ともこの KJSC を通して仲良くなれてよかった。色んな経験やこれからの抱負などたくさんの人の話を聞くことで、自分も今以上にがんばろうという前向きな気持ちになれた。

▽伊東良将

私は今、就職活動をしています。面接で聞かれます。学生で熱中したことは？私はこの K.J.S.C.での経験が就職活動に活かされていると思います。最初は K.J.S.C.に参加するかどうか迷っていました。なぜなら 3 年生の 2 月と言えば、就職活動がすでに始まっているので K.J.S.C.に参加することが億劫でした。しかし、思い切って参加して本当に良かったと思っています。日本から一緒に参加した仲間といい思い出ができました。また、ソウル大学の学生との英語のディスカッションは自分にとって自信となりました。英語能力がない私でも韓国の学生で日本語が話せる方がいたおかげで救われました。さらに、K.J.S.C.でのプログラムはみんなが楽しく交流できるよう配慮してあったため、みんなと会話でき、そして毎日充実した日々を過ごせました。そのプログラムの中で、お互いの国から文化紹介

として出し物をするということが予定されていましたので、私たちのグループはダンスを選択しました。女性主体のダンスだったため、男性陣は女装したら面白いのではないかということになり、これが予想以上にソウル大学の学生に楽しんで頂けました。メンバーに絆ができたことを実感しました。こんな経験ができた私は幸せでした。それが原動力となって今就職活動を頑張ることができています。KJSC に参加したメンバーのみなさんには感謝しています。

▽平田陽子

私は K.J.S.C.が初プログラム初海外でした。英語が苦手だったり、韓国には反日の人が多いと思っていたから、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし韓国人の学生たちは私の分かりにくい英語を懸命に理解しようとしてくれたり、聞きとりやすいようにゆっくり話してくれたりしました。一番心配していたディスカッションも日本語を話すことの出来る韓国の子に通訳をしてもらい、ディスカッションの中身もきちんと理解することが出来ました。コミのみんながフレンドリーに接してくれたおかげで、話すときも緊張をしなくなり一緒にいる時間を心から楽しめました。またお店の店員さんは気さくな人が多かったし、道案内をしてくれた優しい人もいました。人種に関係なく親切にしてくれる人達が韓国にはたくさんいて、私の考えていた韓国人のイメージが変わりました。もちろん日本との違いで驚いたこともあります。店員の接客や公共の場での態度などです。しかしそれによって自分の国良い点にも気づくこともできました。またコミの子達から自分の知らなかった韓国人の価値観韓国の文化を教えてもらい、色々気づかされることがありました。毎日がとても充実して、新しい発見があり、とても内容の濃い一週間を過ごせました。また、ほとんど初対面だった参加者とも結団式からプログラムの間ですごく仲良くなるころができました。プログラムに参加して一番良かったことは、I.S.A.で自分にとって大切な仲間ができたことです。

▽高浦由佳里

全体を通して、今回の韓国でのプログラムは、充実したものとなりました。まず、何より韓国を案内してくれる向こうの学生は、本当に親切で、多くのことに気を使ってくれていて、私たち日本人学生は、凄く過ごしやすかったと思います。初めに感謝したい点です。

また韓国の文化にもたくさん触れる機会があり、両国の学生が、一生懸命英語でそれについて会話していたのは、凄く素敵な時間だったと思います。

そして英語を使って自分の言いたいことを伝える時間に関しては、やはりディスカッションの時間は何よりもよかったと思ってます。お互いが、自分の国の状況について、自分の知っている単語を使って必死に相手に伝えようとしましたが、やはり初めはなかなかう

まく伝えられませんでした。しかし、周りの何人か他の友達と一緒に協力して、伝えたいことが一部でも伝わった瞬間は、本当に嬉しかったです。私自身、今英語をもっと勉強したいと思っていますが、この喜びを忘れないようにして、勉強を続けていきたいと思いました。

最後に、今回のプログラムを通して、私は、まず日本人だけでなく韓国人の友達ができたこと、みんなと過ごせたことが本当に嬉しい事でした。また、文化交流やディスカッションを通して、お互いの特徴、似ているところや、違いを理解し合う姿勢は、これから自分が生きていく中でも必要になっていくことの１つだと、改めて実感しました。今回のプログラムで得たことを、必ずこれからの自分自身の生活に活かしていきたいと思います。

▽清水春花

一言で言うと、ほんとにいいプログラムだったなと感じます。楽しさあり、学びありのプログラムで、様々なことに気づき、考えることができました。そういった場を提供してくれた、韓国人コミの皆さん、日本人参加者、Ex.部長さん、に感謝したいです。

私がとても驚いたことの一つが韓国人コミの皆さんの気配りです。私たちがプログラムを満喫できるように、観光やディスカッション等への配慮や準備を一生懸命動いてくれたことにとても感動しました。プログラムではディスカッションで日韓とも互いの意見を交換することを主軸としていましたが、私自身の英語力の低さで韓国人メンバーの思うようなスムーズな意見交換ができない場面も多くあり、私自身も歯がゆい思いをしましたし、コミの皆さんにとって有意義なディスカッションをすることができなっかったのではないかと申し訳なく思うところもあります。この点が私の一番の反省点と心残りです。

ですが、先ほど書いたように、プログラムに参加することで多くの気付きがあり、学びがありました。私たちが韓国に行ったときは、国交としての日韓関係はあまり有効ではなく、反日運動も度々ニュースで報道されている時期でした。大きな心配はそれほどしていなかったのですが、多少の警戒心を持って韓国へ行きました。プログラム中やプログラム後のアフターでコミ以外の韓国人の人と会話する機会もありましたが、日本人と聞いていやな顔をする人は一人もおらず、とても親切にしてくれました。ニュースをみて、韓国人に偏見を持つ人も多くいますが、そればかりを鵜呑みにするのではなく、実際自分の目で確かめないとわからないことや間違った考えをもってしまうこともあるのだとあらためて感じました。

他にも韓国の文化や歴史など様々なものを感じることができ、プログラムに参加する前よりも韓国のことに興味をもつようになりました。とても素敵なプログラムに参加できたことを本当に感謝しています。

▽森本麻菜美

私は今回のこの K.J.S.C.というプログラムを知ってから、参加することをすぐに決断しました。大学に入学した当初から、英語を学びたい、話したいという思いがあり、さらに学生生活の中でさまざまな国を訪れ、その国の文化や雰囲気を肌で体感したいと考えていました。このプログラムはそんな私にぴったりであり、とても魅力的で、今後への一歩となると考え、参加しました。実際に韓国に行き、ソウル大学の学生さんと会話したり、さまざまなプログラムと通して、本当に良い経験ができました。そして同時に、自分の英語力の低さを痛感しました。相手に伝えたいことをうまく伝えることのできない悔しさ、もどかしさを感じ、これからさらに英語を学習したいという意欲につながりました。ソウル大学の学生は英語を流暢に話せる人ばかりでとても刺激を受け、また、プログラムの一環であったディスカッションでは、自分の意見をしっかりと持っていて圧倒されるほどであり、私も同じように自分の意見に自信をもってどんどん発言できるようになりたいと思いました。この K.J.S.C.に参加するまでは、自分の英語力の低さを理由に、自分から英語での会話や意見の発信はなかなかできませんでしたが、これからは失敗を恐れずに、挑戦していきたいです。さらに、プレゼンテーション能力の高さにも驚かされるとともに、私自身もこの能力を身に着けたいと思いました。K.J.S.C.を通して、ソウル大学の学生や、日本の参加メンバーと仲を深めることができて本当に本当に良かったです。楽しく、刺激のある毎日で、本当にあっという間の 6 日間でしたが、最高の経験をすることができました。この経験を無駄にすることなく、これからに活かしていきたいです。

▽新宮真梨

今回の K.J.S.C.では、朝から晩まで常に活動をしていたので、毎日ユースホステルに帰ってくる頃にはみんなへとへとになっていました。しかし、日本人同士の観光ではとても行けないような珍しい場所も含めてたくさん案内してもらえたりして、本当に充実した一週間を過ごすことができました。韓国へ行くのは今回が二回目でしたが、新たな発見もたくさんあって、刺激をもらえました。まず、韓国人って素敵だな～と思ったのは、文化紹介でダンスの発表をする時に、びっくりするぐらいの奇声を発して全力で盛り上げてくれたことです。すごく失礼なのですが、悲鳴かと思うぐらい高くて大きな声だったので、初めは思わず笑ってしまっていました。でも次第にその声にも慣れてきて、ダンスをしている側の時も、見ている側の時も、気持ちが和らいで愉快な気分になったので楽しかったです。おそらく、韓国人は日本人に比べて感情表現が豊かな人が多いのではないかと思いました。韓国ドラマを見ていても、物凄い剣幕で怒って衝突している韓国人をよく見る気がします。今思ってみると、自分はあまり感情表現が豊かなほうではないし、人に思い切り気持ちをぶつけたりすることはなかったと思います。今回、韓国で感情を大きく表現する

ことの楽しさ、快感を知れたので良かったです。あと、チマチョゴリを着せてもらったこともいい思い出です。ステーキをお腹いっぱいに食べた直後に着ることを知らされたので初めは億劫でしたが、実際着るのはとっても簡単で日本の着物のような締め付け感もなく、ほんの 5 分ぐらいで着付けが終わってしまいました。それぐらい気軽に着れるものなので、また機会があれば違う色のチマチョゴリも着てみたいです。

▽浅沼遥

私は今まで韓国へ行ったことはあったけれど、観光目的の旅行だったので K.J.S.C.のように現地の学生たちと交流したことはありませんでした。日本と韓国は歴史や領土に関することからいろいろな問題を抱えているので不安もありましたが、実際に彼らと関わってみると自分が想像していたのとは大分違っていました。韓国の学生はとても親切で積極的に話しかけてくれ、わたしたち日本人参加者のことをいつも気にかけてくれていました。英語でコミュニケーションをしていたため、伝わりにくかったり、相手が何を言っているのかすぐには理解できなかったりと苦しいときもありましたが、韓国の学生はそんなわたしが何を言いたいのかをいつも分かるまで理解しようとしてくれていたので、わたしも焦らず安心して自分の意見や気持ちを伝えることができました。今まで韓国人の方に対して少し怖いなという気持ちや自分の意見を押し通すイメージを持っていましたが、K.J.S.C.で実際に韓国の学生と交流して韓国人の優しさに触れることができ、そのようなイメージが薄れていきました。今はメディアなどを通して情報を得ることが多いですが、実際に自分で見て触れて学ぶことの大切さを改めて教わりました。

またわたしのディスカッションのテーマは公共交通機関についてだったのですが、正直日本にいたときはあまり意識していない分野でした。しかし日本に帰った今でも、電車やバスを利用する際に K.J.S.C.で話し合った内容を思い出したり、利用している交通機関に当てはめて考えたりしている自分に気がつきました。兵役制度に関しても、自分の友達が行くことで他人事ではなく身近に感じ、平和や戦争、歴史などについてより深く考えるようになりました。このように K.J.S.C.での経験は、自分でも気付かぬうちに何かを考えるきっかけになっていたんだなと気付き、改めて K.J.S.C.に参加できて本当によかったと心から思いました。

▽山崎弘美

私にとって初めてのプログラム参加はもちろん、初めての海外でもあり、最初は楽しみな反面不安も強かったです。でも、帰るころには韓国が恋しくなるほど楽しめていました。

このプログラムで感じたことは、人種ではなく一人の人間として向き合うことの大切さです。ネットで「韓国」と検索すると、候補に出てくるキーワードは「反日」です。でも

実際韓国に行ってみると、優しく接してくれた韓国人メンバーはもちろん道を教えてくれた韓国人もいましたし、特別嫌なことはされませんでした。日本のメディアが過剰に言ってる部分もあり、それを私は今まで信用しすぎていたんだなと痛感しました。これは日本にいたら実感できなかったことだし、韓国に来てよかったと思えました。

また、自分の英語力のなさを思い知らされました。特にディスカッションは大変で、言いたいことがいえないのが悔しかったです。でも、韓国人メンバーは私の英語を一生懸命聞いて理解しようと努めてくれて、悔しさ以上にその姿勢や態度が嬉しくて印象にのこっています。日本人メンバーも英訳を手助けしてくれました。韓国人含めこのメンバーで参加できてよかったと感じました。

▽織田安奈

K.J.S.C.を通して学んだ多くの物事の中で、書きたいことがいくつか思い浮かんだが、最も他の参加者とかぶりそうにないことを選ぶことにした。テーマは「初めてぶち当たった国際交流の壁」である。一読頂ければ幸いである。

今考えれば、とんだ過大評価で恥ずかしいが、私は一緒に行く他の日本人参加者の中では、自分は英語ができる方だと思っていた。もちろん何の海外経験もないので、スムーズに話せるなどは間違っても思わないが、韓国人学生と会話することに関しては他の日本人学生よりも多少有利だろうと思っていた。そして、こんな傲慢で生意気な考え方をしていたこと自体が間違いだったと気づかされたのも、K.J.S.C.においてのことだった。

いざプログラムが始まり、始めのうちはあまり気にしていなかったが、周りの日本人参加者たちが積極的に韓国人参加者に話しかけるのを見て、すごく焦った。彼らは特に英語が上手いとか、そういうのではないのだが、持ち前の明るさと積極性でどんどん韓国人学生と打ち解けており、とてもきらきらして見えた。一方の私はというと、常に自分の居場所を確保し続けないとならない集団行動に疲れ、肉体的疲労ともあいまって、最終日には、ここ十年で最も高い39.6度の熱を出してしまった。

あまり自己嫌悪はしない方だが、このときばかりは自分ことを情けなく思わないわけにはいかなかった。自分は国際交流に対して強い興味があったので、I.S.A.への所属を決め、時々自分の怠惰に嫌気が指しながらも、英語の学習を続けてきたのに、いざ外国人と交流する場に放り込まれると、自分の存在感というもの（存在感というのは客観的評価によってしか分かり得ないものかもしれないが、あえてこの言葉を選んだ）はこんなにも小さいのかと、自分の非力さを痛感させられた。

しかし無理もない。私は、もともと一人でいるのを好み、慣れない人の前に出ると急に肩身が狭くなり、煩わしい人間関係を避けながら生きている。このような生き方を否定するつもりは更々ないが、このような人間には国際交流を語るときが一生訪れないであろうことは否めない。私がより広い範囲で活躍する人間になりたいと考えるのならば、今の自

分を変える必要がある。

これが、帰国してからも考え続け、私が出した一つの答えである。K.J.S.C.を通して得たものはたくさんある。しかし、本当に自分の力に変わるも要素は、「楽しかった」という思いでからではなく、悔しい気持ちから生まれるものであると考えるので、あえてこのような自分への戒めや目標をつづらせてもらった。常に自分は正しいと考えてしまいがちな頑固な私に、変わりたいという強い気持ちを与えてくれた K.J.S.C.には感謝してもしきれない。

▽松木彩奈

同世代の他の国の人とお話したりやディスカッションをする機会はなかなかないのでいい経験になったと思います。今まで韓国に行ったことがなく、韓国人の知り合いがいたわけでもなかったので、私の持つ韓国に対するイメージはテレビなどで伝えられていることに基づくイメージでした。しかし、今回実際に韓国に行ってみんなと一緒に過ごしてみて、フレンドリーで親しみやすく、これからも仲良くしていきたいなと思ったり、友達ができたから韓国についてもっと知りたいなと思ったりしたので、お互いの国についての理解が深まる機会になったように思います。

ディスカッションでは普段は話さない内容を英語で話し合わなければならなかったので、とても大変でした。題材も難しいですし、その考えたことを英語で伝えるのも大変でした。ソウル大学の方は英語が上手だったので、私たちの言っていることを分かろうとしてくれたし、私たちが分からないところは言い換えて言ってくれてとても助かりました。同世代の人が英語を流暢に使う姿を見て、私も英語を頑張らなければという意識も高まりましたし、英語でコミュニケーションをとる難しさを感じました。日本で普通に生活しているとあまり英語を使う機会がなく、英語の勉強を頑張る意味や目的が薄れてきますが、英語を使わなければならない環境に置かれることで、薄れていた頑張る気持ちも高まりました。

英語が上手とか下手とか関係なくしゃべりたいと思う気持ちや積極的に話しかけることが大切だと、みんなを見て思いました。また今回、韓国人メンバーと仲良くなれたことで、日本と韓国が仲良くなってほしいなどプラスの感情もあり、韓国人メンバーにも日本について良いイメージがついてこれからも交友を深められる関係になれば良いなと思いました。

▽永友亜依

元々韓国が好きだった私が I.S.A.に入ろうと決めた決めてが韓国に行くプログラムがあったからなので今回の K.J.S.C.に行けると分かったときはうれしくて行く前からとてもわくわくしていました。実際、韓国滞在中は毎日が驚きで、食事、韓国語、韓国人の行動ひとつひとつに興奮していました。

この K.J.S.C.への滞在中はソウル大学の学生と国際交流はもちろんのこと、韓国語の勉強もして帰ろうと自分の中で思っていました。なので会期中、私が韓国語に興味があると知ったとたん韓国語で話してきてくれたり、ヌナ（お姉さん）と呼んでくれたり、本当に気さくに接してくれて嬉しかったです。

韓国へ滞在するのは今回で 3 回目。今までニュースに流れるような反日の方には出会ったことはないし、きっと今回も大丈夫だとおもっていました。しかし、2 日目に行った景福宮で反日らしき方と、また滞在先のユースホステルで竹島について話し合っている団体と出くわしました。それまで大丈夫と思っていたけど急に緊張感と恐怖を感じました。でも、それと同時に嬉しさも感じました。とゆうのが、景福宮の時は、日本語をはなす私たちに文句を言ってくるおじさんに韓国人コミがああゆうのはダメだよねと声をかけてくれ、ユースホステルでは現地の中学生の子が、私たちが日本人とわかったとたん僕たちは全然大丈夫だけど竹島について話し合っている団体がいるからあまり大きな声で日本語を話さない方がいいと思うよ、と親切にも教えてくれたからでした。

メディアによって偏った先入観をもってしまうかもしれないけど、当然日本のことが好きと思ってくれている方もいるし、やっぱりメディアだけでその国を判断するのはよくないと 12 日間の滞在を通して改めて思いました。もっとたくさんの国に行くことで自分の間違った先入観もなくしていきたいです。このような素晴らしい機会を与えてくださった ISA に感謝感謝の気持ちでいっぱいです。

▽村上昂平

今回は K.J.S.C.3 回目、I.S.A.の韓国プログラムに関しては 6 度目の参加になりました。前回の K.J.S.C.では場所は大邱で行われそちらの学生と交流したのにたいし、今回はソウルで開催され韓国トップの大学であるソウル大学の生徒と交流、ディスカッションなどを行いました。今回の K.J.S.C.は前回にくらべ、かなりディスカッションメインだったように思われます。各チームごとテーマが分けられ、自分たちのテーマはＦＴＡに関してディスカッションしました。ＦＴＡは以前提案されて中止された自由貿易協定について行い、それに関してのメリット、デメリットなどをあげ議論しました。今話題になっているＴＰＰと同じように簡単には結論がだせる議題ではなく、かなり議論に苦戦はしましたがお互いの考え方や経済状況、何が問題化がはっきり見えとても有意義なディスカッションになりました。ディスカッション以外では中心部のソウルや明洞だけではなく、カンナムや高速バスターミナルなど韓国人がよく回る下町なども一緒にまわりとても有意義な時間を過ごせたと思います。キョンボックなどの歴史的文化財などもみたりソウルタワーにも上れて、ソウル周辺を一通りまわったのではないかと思うほど多くの場所を周りまし。もちろん足はかなり痛くなりましたが・・・。今回もたくさんの発見があり、とても有意義な時

間を過ごすことができました。また機会があれば参加したいです。

▽松倉千明

K.J.S.C.に参加するかどうかとても迷っていたのですが本当に参加してよかったなと感じています。旅行では経験できないたくさんのことを経験することが、でき日本人ではない学生と6日間を毎日一緒にすごすことができ楽しかったです。また英語で話すためには自分から積極に、話しかけることが大切だということを実感擦ることができました。韓国の有名な場所を廻ることが、でき本当に充実していました。

私は人見知りをしてしまうのですがそのままではダメだということを実感し、これからは自分からたくさんのことを人に提案したり、話したりしようと思えました。この経験は絶対に忘れられないものになりました。

▽泉裕花

私はJK52の実行委員をしたことで、韓国に対してのいろんなイメージが変わり、それまで負のイメージが大きかった韓国が大好きになりました。その延長で、もっと韓国、韓国人のことが知りたいという気持ちから、K.J.S.C.に参加しました。ですが、JKで好きになった韓国をK.J.S.C.で更にこんなにも好きになるとは思ってもみませんでした。1番大きかったのは、このK.J.S.C.メンバーでK.J.S.C. に参加できたことだと思います。最初は韓国人と仲良くなれるか不安だったのですが、みんながしゃべっているのを見たり、実はあの韓国人こうだったんだよと教えてくれたり、みんなが韓国人と仲良くなるきっかけになりました。さらに、もともと韓国に興味がなく、韓国についての知識がなかった私にいろいろ教えてくれたのも、参加者のみんなでした。韓国についての知識が増えるにつれて、韓国への興味もどんどん膨らんでいきました。日本人参加者のみんなには本当に感謝したいです。

もともといろんな文化を知ることが好きなので、韓国の文化を実際に体験しながら知り、日本の文化と比べたりできたのが、最高に楽しかったです。韓国は日本に似ているようで違う部分がたくさんあることを知りました。毎回食事にキムチがついてくるし、オンドルという床暖房を使う習慣があるし、化粧の仕方も違うし、あげていけばきりがありません。しかし、人間性に関しては、似ていると思います。人の気持ちを考えたり、うわべだけじゃない優しさ、思いやりがあるところです。これをマスメディアから知ることは難しいでしょう。韓国人のこんなにいいところが実際に関わってみないとわからないなんてとてももったいないです。

韓国人は日本にとって一番仲良くなりやすい外国人だと思います。確かに、反日の韓国人もいました。しかし、韓国人全てが反日というわけではありません。反日の韓国人は熟

年層が多いように思います。私は、ひとつの人種にもいろんな人がいて、一概に「韓国人」とひとくくりにはできないということをこの経験をもとに伝えていきたいと思いました。

▽宇都宮果菜

私が I.S.A.に入ろうと思ったきっかけがこの韓国プログラムでした。外国の人と触れ合う機会が今までなかったので不安も多かったのですが、とても素晴らしい体験ができたと思っています。私個人では韓国に行ったことはありますが、なかなか日本人だけでは気軽に行けないような場所にも連れて行ってもらえました。韓国語が飛び交い、人がとても多く行き来する屋台でご飯を食べたり、チマチョゴリを着る体験はなかなかないと思います。英語のディスカッションでは、自分の英語のできなさを改めて痛感させられました。積極的に韓国の人と話すようにしていたら、会話は日が経つにつれてだんだん自分の感情を表現できるようになったけれど、もっと勉強しようと思いました。また、英語を使う環境に行くことの重要さを感じました。これからは、ただ机にしがみついて勉強するのではなく、積極的に英語や韓国語を使う場所に行ってみたいと思うようになりました。

今回の交流を通じて、日本を好意的に思ってくれている韓国の人も多いんだと感じました。政治的な面では、日本と韓国の関係について、よくメディアで「冷え切っている」という表現が使われています。韓国に友達ができた今、それを聞くたび悲しい気持ちになります。確かに、日本と韓国の間の問題は、そんな簡単に解決するようなものじゃないものも多いけれど、何とか関係を改善していってほしいと強く思うようになりました。ただ旅行に行くよりも、現地の人と交流することでその国、土地を好きになる、というのは以前も経験したことがあります。同じように韓国も、単に日本から近い国ではなく、「好きな友達がいる場所」になりました。また絶対行きたいです。

▽廣田泰博

「K.J.S.C.で感じた日本人」

今回僕がここで書こうと思っていることは「日本人について」。韓国に行くプログラムだったのにこんな事をフリーテーマエッセイにしていまってほんと申し訳ない。けど僕が韓国、外国に行ってそこで感じたことを少しだけど書いてみようかなって思ってる。

まず日本の韓国の違いは何だったのか、こっちに帰ってきてつくづく実感したことそれは、彼らは何でもかんでも自分の思ったとこをストレートに言っていたなって思う。自分がこうした方がいんじゃない？と考えたことは包み隠さずスパっと伝えてきたな、とプログラムの期間を通して感じることができた。これに比べて我々日本人の場合はどうなんだ

ろう。自分の思うことをスパッと言えてるかな？と、自分に当てはめて考えたときにその答えはノーだった。
実はプログラム期間中、たしか二日目だったかな？韓国側のオーガナイザーたちが僕にとって K.J.S.C.のなかで一番興味深い質問をしてきた。「日本の女の子は何を考えているのかわからなくて、どうすれば本当に喜んでくれるのかが分からない」と。その内容はこうだ。お店などを見て回っているときやどんな時でも、韓国側のスタッフが参加者に喜んでもらうにはどうするのが良いのかベストなんだろうかと思い、食べ物や場所の感想を聞いてもただ「たのしかったよ」や「おいしかった」などというありふれた感想しかどうしても返ってこないから何をしてあげればいいのかさっぱりわからない、ということだった。
韓国では男女を問わず先にあげたような「自分の思ったことをハッキリ伝える」といった風潮がある。これはどんな時であれ面と向かい合った、すなわち建前ではなく本音で相手とコミュニケーションをとっている。しかしながら集団主義を根底に持つ我々の日本文化において、他人と違った意見を述べること自体がどこか調和を乱す反社会的行為としてみなされる事があるように思えて、なかなか自分の思ったことを言うことができない雰囲気が存在しているように思える。確かにこの文化の裏には、世の中にはいろんな考えの人がいるからその人たちを不快にさせないために出来上がったものではないかと僕は思う。いい文化だ。けど、外国に行くとそこはもう日本でない以上その国の文化に染まるしかなく、自分の思っていることを積極的に伝えていかないとなんだか置いて行かれるような気がした。結局何が言いたいのかよくわかんなくなってしまったのだけれど、彼らのこの文化はいい面もたくさんあるように思えたので今後私が海外へ行くときだけではなく普段の生活の中でも、周りに迷惑が掛からない程度にしっかりと意思表示をしていこうかと思う

廣田泰博 *Hirota yasuhiro*

1993/04/18　関西大学１回生

ひろひろです！！

＊かわいい。女装の時限定で。
＊顔可愛いっっ　でも K.J.S.C.中すぐに S っ気あるの分かった。。。
＊ちょっとまた今度話そう(笑)
＊ちょっと口悪いだんちょー)^o^(
＊誰とでも仲良くなれる。
＊仕事ができる男
＊しっかり者
＊やさしい
＊イケメン。喋り方独特！広島弁
＊面倒見が良い
＊しっかりしている、気が利く
＊毒舌だけど実は優しい！顔が女の子
＊頼。しっかりしていて、信頼できるリーダー
＊かわいい顔してるのに性格かわいくない
＊たよれる団長。
＊さわやか系ムキムキマッチョ

伊東良将 *Ito Yoshimasa*

1990/07/27　神戸大学３回生

遠くにあるきれいな花を取りにいくよりも、自分の歩む道に自分だけの花を咲かせていけ。

＊恋バナが楽しい(笑)またしましょうね(笑)
＊勉強会での印象と本当の伊東さんの姿は全く違いました。
＊眠れる獅子とはいっくんさんのこと！
＊おとうさん(^O^)
＊しっかりしているカメラマン
＊女装の伊東さん
＊やさしいお兄さん
＊女装の時のはじけ具合がすごかったｗ
＊頼れるお兄さん
＊親しみやすくて話しやすい
＊チアガールかわいすぎた！変態だけどそこもおもしろい
＊兄。まさにお兄さん的存在、女装にノリノリの一面も素敵
＊美脚にいさん
＊まじめにみえて、めちゃめちゃおもろい兄さんｗｗ
＊真面目だけどスイッチが入るとクレイジー。ノリいい笑
＊先輩、というより父。

西村友里 *Nishimura Yuri*

1993/11/05　関西大学２回生

K.J.S.C.に参加して交流の輪が広がってよかった。

＊変顔が神。ほんとに。神。すきやわ。
＊最初実はちょい怖い子かと思ってた、ら正反対！優しくて優しい子だった＾＾
＊ほんわかしていて一緒にいてすごく落ち着きました＾＾
＊女らしさ憧れます(#^.^#)♡
＊甘えてしまう優しさがある
＊いいお母さんになりそう
＊やさしい
＊包容力すごい。笑顔可愛い！
＊優しいお姉ちゃん
＊空気をふわふわさせてくれる
＊白いジーパンが似合う
＊優。なんでも相談しやすく、優しい雰囲気を持っている人
＊かわいくて明るくて喋りやすくて、、、
＊意外と黒い・・・ｗｗ
＊みんなを見守るお母さん
＊ほんわかしてるけど筋、通ってます。

宇都宮果菜 *Utsunomiya Kana*

1993/07/15 関西大学２回生

K.J.S.C.はキラキラしてて最高な想い出です。
みんなありがとう！！(^O^)

＊ねーさん♡　一緒にいてすごく頼れる存在！
＊姉御肌のドジとか持ち過ぎやぞ！笑
＊ノリが楽しい先輩(#^.^#)
＊絵がめっちゃうまい。素直。
＊恋多き乙女
＊天然で愛されキャラ
＊ふんわりしている
＊芸能界でもやっていけそう！笑　おもろい！
＊明るくておしゃれさん
＊しゃべるスピードがゆっくり、感情豊か
＊姉さんってあだ名が似合う。小悪魔といえばこの人！
＊華。周りの人を元気にし、ぱっと明るくさせることが出来る人
＊先生いいいいい
＊意外なとこが多かったかなーw
＊姐さん
＊頭上がりません。

松木彩奈 *Matsuki Ayana*

1994/05/19 関西大学１回生

人と関わるのが好きです。

＊空港でのことは忘れないよ(笑)次はちゃんとたどり着こう！！
＊帰国子女みたいな雰囲気だけど人懐っこくて可愛い
＊慕ってくれて嬉しい！あやなのダンスが好きです！
＊乙女♡♡♡
＊ほんわかしていてのんびりしとる。
＊思いやりのあるお嬢さん
＊ピュア、ダンスも上手
＊踊ってる姿萌えた(*^_^*)　可愛いすぎ
＊海外大好きなお嬢さん
＊英語がぺらぺら
＊帰国子女オーラ出てる！
＊和。おっとりしていて、一緒にいると心が和むような存在
＊ぎゅってしたい…！！
＊いい子すぎる純粋な子。
＊しっかりしている！！！！！
＊どんな時もおしとやかな子。

森本麻菜美 *Morimoto Manami*

1994/06/29　関西大学１回生

K.J.S.C.最高！！

＊すべからく可愛い。
＊まさに天使そのもの
＊一緒に発熱したね(笑)熱でもかわいいとか尊敬！笑
＊抱きしめたい////
＊癒し系妹的存在
＊何でも許される可愛い子
＊目ぱっちりかわいい
＊ふんわりしている
＊癒し系(*^_^*)　服装めっちゃ好き！
＊癒しの後輩。
＊ふわふわしてる
＊とにかくかわいい。お父さんの服を着る子。
＊かわいいいいいいいいいい
＊ほんわか妹キャラ。
＊可愛い体育会系
＊プログラムの途中から本性をあらわにしてきた子。

高浦由佳里 *Takaura Yukari*

1992/05/27 関西大学２回生

K.J.S.C.本当に楽しかったです。充実してました。役職として与えてもらった広報も、元々写真を撮ること自体好きなので、楽しみながら取り組むことができました。

＊英語ぺらぺら
＊日本人メンバーで一番大人な雰囲気で、英語がとっても上手！
＊また歴女同士、歴史トークしようね！
＊恋バナおもろい！笑
＊おっとりした喋り方。
＊尊敬できる知的な女性
＊気配り上手
＊とても女の子
＊喋ってて安心する！いつも笑顔で可愛い！
＊きっちりしてて頼れる
＊夜強い！
＊知。物知りで、尊敬できる人
＊英語の発音がすげえええ
＊めちゃしゃべりやすい。
＊好奇心旺盛。賢い！
＊英語力すごかったです。

永友亜依 *Nagatomo Ai*

1993/06/09　ノートルダム清心女子大学２回生

もう一回 K.J.S.C.したい！！

＊k-pop 系セクシー女子
＊普段会いすぎて、何書けばいいのか。。。カラオケ行こうパート２
＊せくしー///
＊方言がめっちゃかわいい。
＊チマチョゴリが似合う女性
＊くちびると東南アジア
＊韓国語上手！！
＊スマホでかい(笑)　韓国人！
＊韓国だいすきで明るい子
＊韓国のプロ
＊無邪気。わたしの韓国語の先生！！
＊幸。周りの人のことを考えられて幸せにできるような人
＊セクシーなのにおもろい
＊韓国大好きっ子ｗｗ
＊悟ってる
＊あのスマホケース使いにくいと思うよっ！

浅沼遥 *Asanuma Haruka*

1993/11/09　ノートルダム清心女子大学２回生

みんなと一緒に過ごしたのがもう懐かしい(^^)
おもしろくて個性的な人ばかりですごく楽しかったです！
また日本で会いましょうー♪

＊かわいい。癒し。ゆるゆる系女子
＊白のパーカーに赤いスキニーズボン！！！ｗｗｗ
＊普段会いすぎて、何書けばいいのか。。。カラオケ行こう。
＊おじいちゃん(^^)
＊天然でかわいい。
＊惹きつけられる笑顔
＊癒し系女子
＊かわいい、目くりくり
＊深きょんに見えてしょうがなかった(笑)　美人！
＊実はしっかり者かつ癒し系
＊声がめっちゃかわいい♡
＊笑。笑顔がとっても素敵
＊ぼんれす
＊なんかおもろいｗ
＊安心感のあるおとぼけさん。
＊いじめすぎました。

織田安奈 *Oda Anna*

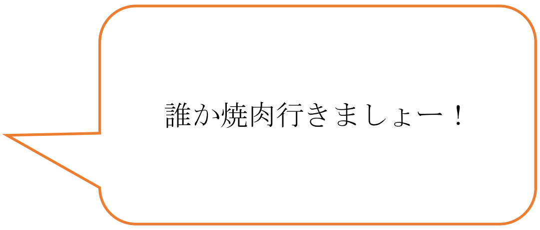
1993/06/10 岡山大学２回生

旅先でその土地の歴史を学ぶのが好きです。

＊清楚な裏に隠された神秘
＊あんなっしはいつもマイペース(*ノωノ)
＊ちょっとだけ毒舌)^o^(
＊めっちゃ気遣いができる。優しすぎる。
＊みんなの人気者
＊ツンデレ
＊おっとりしている
＊何も喋ってなくても面白いｗ　独特のオーラ醸し出してる(笑)
＊しっかり者
＊おっとりしてる
＊さすが、あんなっし！って感じの人。
＊穏。一緒にると落ち着く、毒舌な一面も素敵
＊話したらない
＊おっとりやけど、なんか毒舌ｗｗ
＊抜けてる
＊口癖「恐縮ですが」

平田陽子 *Hirata Youko*

1995/01/10 神戸女学院大学１回生



＊変なノリを分かち合ってくれる優しい子(笑)美術館行こうね。
＊小動物みたい！！
＊かわいい妹のような存在！犬！
＊マリオゲームのコインがめっちゃかわいかった。
＊頭ポンポンしたくなる
＊明るくてマイペース
＊陽気
＊小動物！ほんっまに何してても可愛い～
＊明るくてかわいい子
＊小動物みたい
＊聞き上手！
＊陽。陽気で、一緒にいると笑顔になれる、天然な一面もかわいい
＊かわいいくせにおもしろい
＊ほわほわ小悪魔少女。
＊ほんわかおバカ♡
＊なんか壊す。

山崎弘美 *Yamazaki hiromi*

1994/12/25　同志社女子大学１回生

みんなと過ごせて楽しかったです。また会いましょう！

＊自撮り(笑)何事にも一生懸命。
＊とても変な子。自撮り。
＊天性の才能に恵まれたと思う。
＊KJ のお笑い芸人！！
＊話術のプロ。どんな話でもひろみちが話すとおもしろい。
＊今後の人生が楽しみ
＊面白い
＊獅子舞に似てる話おもろすぎたｗ　可愛いのに(笑)
＊かわいい
＊ムードメーカー、お酒が入ると自撮りする
＊実は繊細だったりする、、
＊明。みんなと明るくさせるムードメーカー
＊私と似てるｗｗ
＊お酒・・・。
＊ピュア。愛すべきおバカ。
＊よくしゃべりしっかりしてておもしろい長野の人。

清水春花 *Shimizu Haruka*

1994/02/17　同志社女子大学２回生

今回の K.J.S.C.に参加できてほんとに楽しかったです。
楽しかっただけでなく、いろいろなことも学べました。ありがとうございます。

＊後輩にとって頼りがいのある先輩だと思う。
＊メイクのプロ！！！
＊3 日目の夜に、二人で真面目な話をしたのが良い思い出＾＾
＊いじりたくなる先輩(^^)
＊愛されキャラ。一緒に喋っとると笑顔でいれる。
＊一緒にいると元気をもらえる
＊トーク上手
＊面白い
＊みんなに優しい！めっちゃおもろくて好き（特に変顔）！！
＊ノリ良くて楽しい子
＊ムードメーカーでしっかり者
＊酔ったときのタルギするはるかちゃんかわいかったー
＊元。いつも元気でとっても面白い
＊ひろみちとにこいちｗｗ
＊盛り上げ担当。何かしでかしてくれる
＊面倒見がよくて何でもできる人。

新宮真梨 *Shingu Mari*

1993/09/15 京都女子大学２回生

シングーです(^.^)/~~

＊優しい系女子

＊ちょい天然　スジと IU を本気で間違えてるとこすっごく可愛かった！

＊新宮のこと好きすぎて気持ち悪かったと思う。ごめん(笑)

＊可愛いお姉ちゃん////

＊突っ込みがおもしろい。あたしのツボ

＊爆笑娘

＊笑顔が素敵

＊クール

＊笑顔素敵

＊たまに行動が面白い　よく笑う(^^)

＊凛。凛としていて、しっかり者

＊言動がおもろい

＊変人。

＊ぼそっと辛口女子

＊痛い子！

松倉千明 *Matsukura Chiaki*

1993/10/18　京都女子大学２回生

みんなで K.J.S.C.参加できてほんまに楽しかった(^^)ありがとう！

＊一緒に話しててすごく話しやすい子やなと思った。
＊はなす時に若干早口で可愛い！！
＊同室だった分他の人よりも話せた！カラオケ行こうね！
＊早口おしゃべりちょっと変わった人(^^)
＊頑張り屋さん。
＊清純派女性
＊おっとりしてる
＊やさしい
＊一人でずっとぺちゃくちゃ喋ってる！笑
＊優しい
＊実はスタイルいい。
＊姉。お姉さん的存在、とっても聞き上手
＊いろいろ私のつぼ
＊しっかり・・でもないか。ちょっと天然。
＊ものわかりがよくて優しい
＊参加者の中で２番目にキャラがつかめなかった人。

泉裕花 *Izumi Yuka*

1994/03/08　神戸松蔭女子学院大学２回生

この Ex.に参加した自分を褒めたいです。このプログラムで出会った人、できた経験は一生わすれることのない私の宝物です。

＊いずみと話すんめっちゃ楽しい！また話そう(笑)(笑)
＊可愛いのに変顔ばっかりしてる
＊面倒見が良くて、開放的な性格が羨ましい(>_<)
＊笑顔が素敵（@^v^@）
＊縁の下の力持ち。
＊頼れるお姐さん
＊いい意味でサバサバしてる
＊頼れる姉御
＊性格良すぎ！いつも全力で笑ってたｗ
＊ノリ良いお姉さん
＊よく笑う
＊いじゅみんといると元気になる！めっちゃ笑う
＊気。ON と OFF の切り替えが上手で、気配りの上手な人
＊話しやすいあほ
＊頼れるねーさんｗｗ
＊よく笑う！

村上昂平 *Murakami Kouhei*

1992/03/15　関西学院大学３回生

今回 K.J.S.C.参加３度目になりました。毎回行くたび新たな発見があり、また行きたくなります。

＊前世は韓国人。ぜったい。
＊外見も中身も韓国男子
＊むらむらさんの予備校時代のお話が大好きです(笑)
＊女子より女子力高い！！
＊韓国ツウ
＊繊細な心の持主
＊服大好きですね
＊やさしい
＊お洒落さん。何言っても笑って聞いてくれる！
＊話が楽しい人
＊気を使ってくれる、優しい
＊韓国人に一番なじんでいた
＊楽。いろんな話で、みんなを楽しませてくれる
＊私より女子
＊女子力高い優男
＊ゆるきゃらお兄さん。

＼ Album ／

Day 3
Day 4

Last day

Ranking ☆

＼ミス KJ53／

1 位　まなみちゃん

2 位　陽子ちゃん

3 位　はーちゃん

＼英語を操っている／

1 位　ゆかり

2 位　ひろひろ

3 位　あやなちゃん

＼イケメン／

1 位　いずみ

2 位　ひろひろ

3 位　伊東さん

＼優しい／

1 位　友里

2 位　あいあい

3 位　ちあき

＼ふわふわ／

1 位　あやなちゃん

2 位　まなみちゃん

3 位　陽子ちゃん

＼怒ったら怖そう（笑）／

1 位　あいあい・あんなし

2 位　いずみ

3 位　伊東さん

＼小悪魔／

1位　かなかな

2位　陽子ちゃん

3位　あいあい

＼おもしろい／

1位　ひろみち

2位　はるかちゃん

3位　いずみ

＼妹・弟にしたい／

1位　陽子ちゃん

2位　まなみちゃん

3位　はーちゃん・ひろみち。ちあき

＼ドS／

1位　ひろひろ

2位　あいあい

3位　あんなし。ピングー

＼何をしても怒らなそう／

1位　むらむらさん・ちあき

2位　伊東さん

3位　あやなちゃん・まなみちゃん

＼面倒見がよさそう／

1位　いずみ

2位　はるかちゃん

3位　伊東さん

＼ギャップ／

1位　ひろみち

2位　ピングー

3位　はるかちゃん

編集後記

▽宇都宮果菜

今回、K.J.S.C.のことを思い出しながら編集させてもらいました。報告書制作の人数が少なかったこともあり大変でしたが、やりがいのあるお仕事だったと感じています。日別報告やフリーエッセイなどは、みんながどのように K.J.S.C.を過ごしたのか分かると思うので、是非たくさんの方に読んでほしいです。他のページも楽しんで読んでいただけたら嬉しいです。報告書制作のためにご協力してくださったみなさんありがとうございました。

▽浅沼遥

報告書をつくるのは、思っていたより時間がかかり大変でしたが、作成しているときK.J.S.C.での思い出がたくさん頭に浮かんできてすごく懐かしかったです。特に写真を集めているときは、その状況や出来事が鮮明に思い出せて、楽しかったなとしみじみ感じていました。報告書をつくりながら、自分が参加したプログラムについてもう一度きちんと振り返ることができてよかったと思います。

発行元

International Student Association（日本国際学生協会）

発刊日

2014 年 4 月 9 日